

健康経営とは？

「健康経営」とは、従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。
経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことで、
組織の活性化や生産性の向上、企業価値の向上などの効果が期待されます。

健康経営 実践企業の声

社員の満足度が高まり
離職率が下がった

社員の生産性が上がり
業績向上につながっている

企業のブランド価値が向上し、
事業への好影響があった

社員のリテラシーが向上し、職場風土や
コミュニケーションも改善した

「認定法人」はこのマークが目印！

毎年、審査のうえ認定された企業へ、その年度の認定ロゴが配布されます。

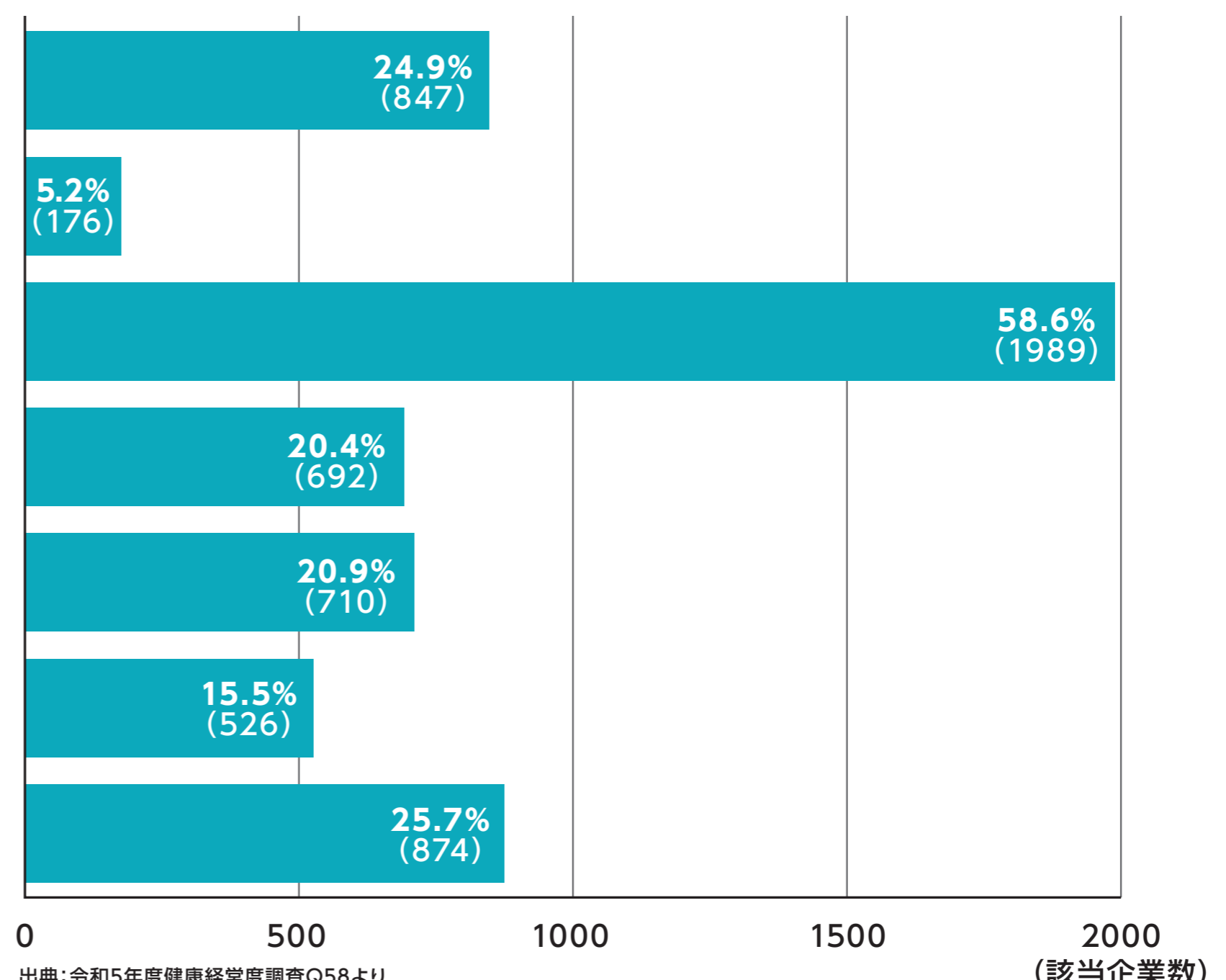


健康経営を実践する法人の多くは花粉症対策を支援！

健康経営を実践する法人の多くは、生産性低下防止のために「花粉症に対する具体的な支援」を行っています。

【花粉症に対する具体的な支援策】(n=3396法人*)

- ① 対症療法(服薬など)に対する補助・支援をしている
(通院や薬の購入への補助等)
- ② 根治療法(免疫療法など)に対する補助・支援をしている
- ③ 空気清浄機の設置など職場での花粉症対策を実施している
- ④ 花粉症に合わせた柔軟な働き方を認めている
(花粉飛散量が多い日の在宅勤務を推奨する等)
- ⑤ 花粉症に関するセミナー等教育を実施している
(薬の飲み方、副作用への理解等)
- ⑥ その他
- ⑦ 特に行っていない

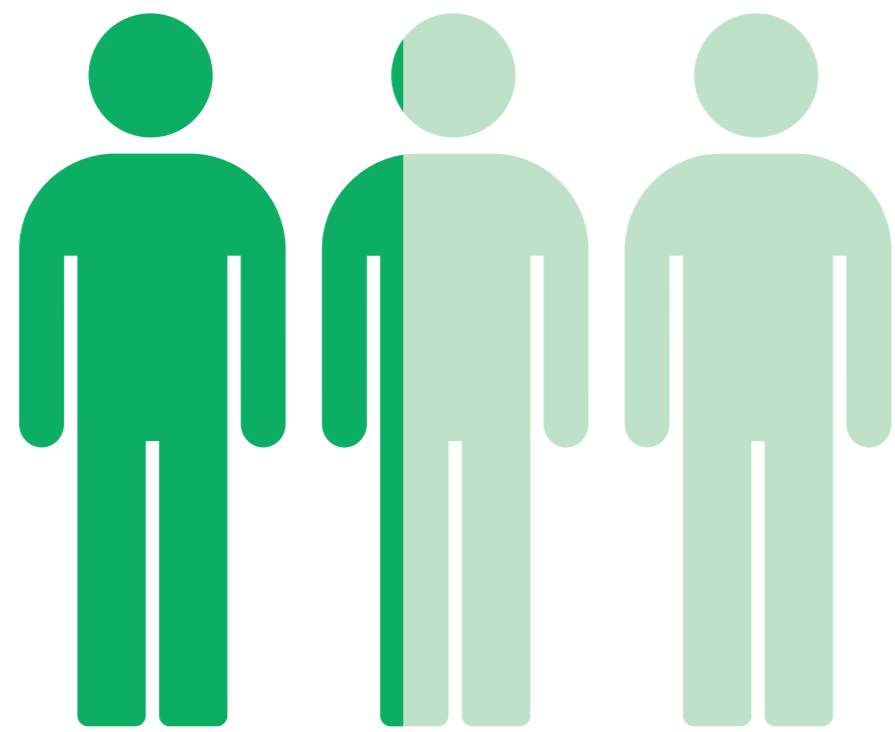


出典: 令和5年度健康経営度調査Q58より

*【花粉症に対する具体的な支援】に回答をした3396企業で集計をしています。

花粉症と働き方

今、3人に1人がスギ花粉症です。

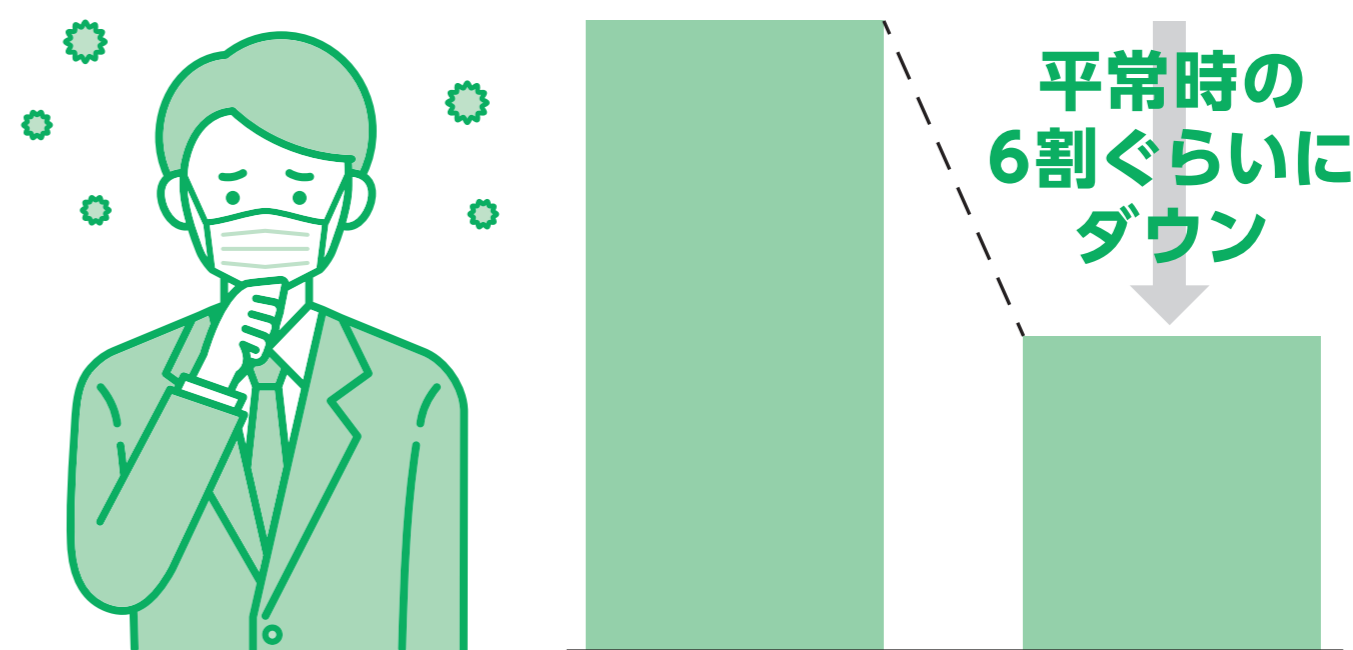


スギ花粉症の有病率は

38.8%

出典：日本耳鼻咽喉科学会報123:485-490, 2020

花粉症時は生産性も低下。

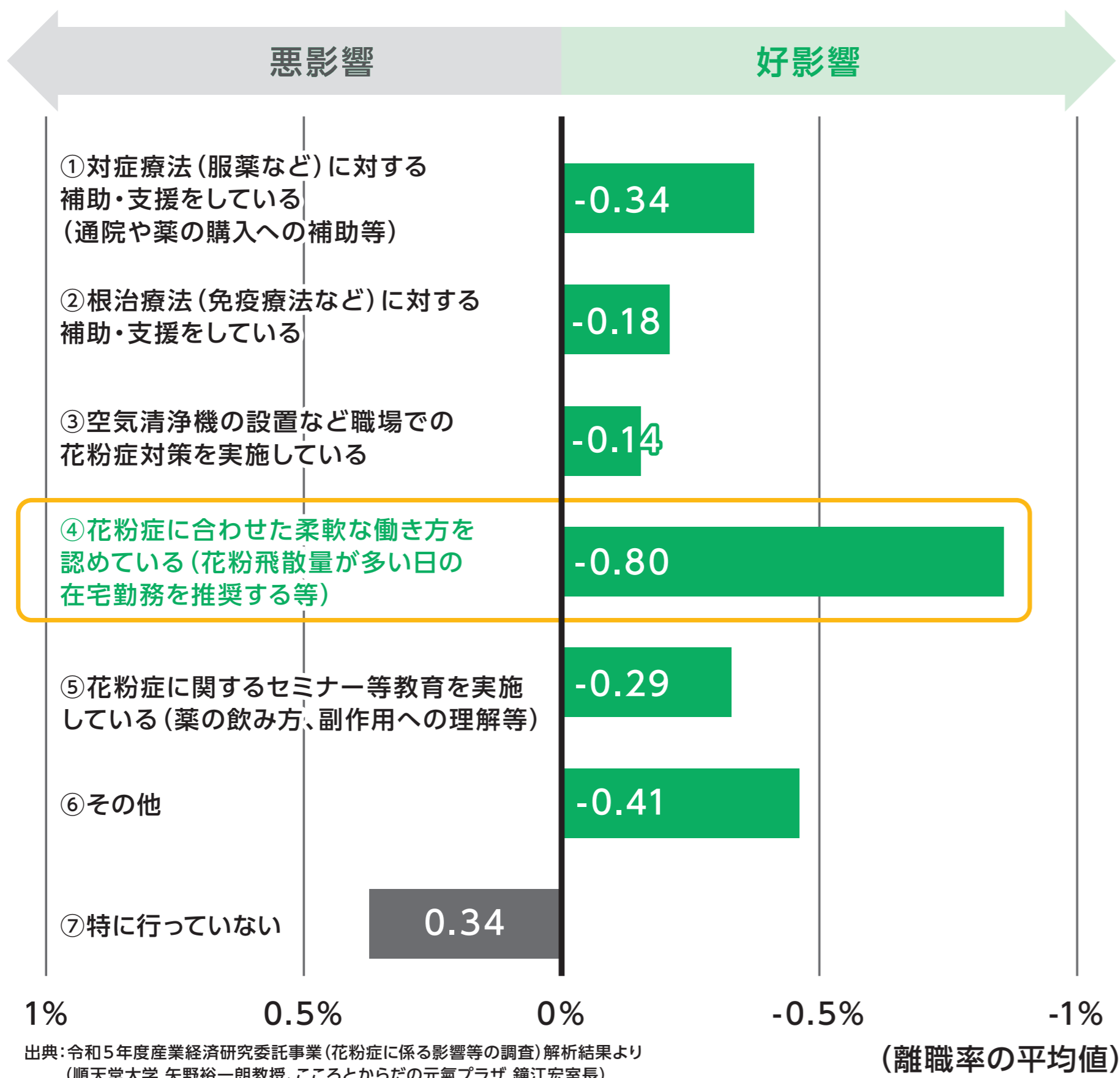


花粉症／アレルギー性鼻炎の症状があるときの
仕事の効率^{*1}は、症状がない時と比べて

平均 **63%** 程度

出典：ニッセイ基礎研究所「被用者の働き方と健康に関する調査^{*2}」(2021年3月)
*1：アレルギー性鼻炎／花粉症の症状があるときは、仕事の量×仕事の質が、症状がない時と比べて平均で約63%になると回答。
*2：全国18～64歳の男女被用者(公務員もしくは会社に雇用されている人)を対象とするインターネット調査。2021年3月実施。
有効回答数5808。全国6地区、性別、年齢階層別(10歳ごと)の分布を、2015年の国勢調査の分布に合わせて回収。

花粉症対策の効果で離職率低下も！



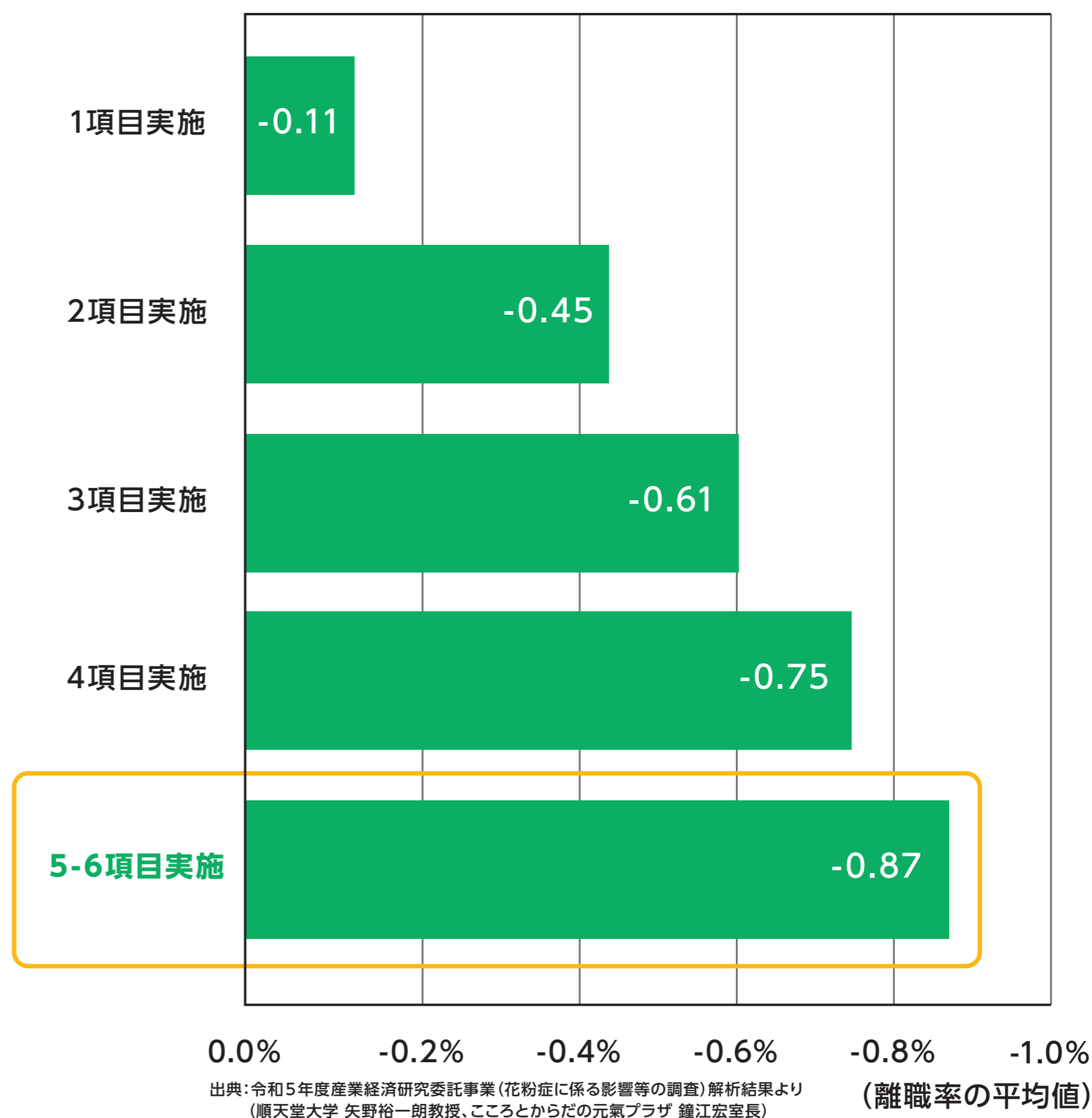
グラフが右へ伸びるほど離職率低下(-マイナス)に好影響。
最も高いのは「④花粉症に合わせた柔軟な働き方」。
「⑦特に行っていない」は離職率上昇の傾向がある。



花粉飛散量が多い日は
テレワークにするのもいいですね。

企業の花粉尘対策はやればやるほど好影響！

【花粉症に対する具体的な支援策の項目数と離職率の相関】



1項目より2項目とグラフは上昇。
花粉症対策支援は**取り組む項目数が多いほど**
離職率低下に好影響。

花粉症に合わせた柔軟な働き方をしている企業は、していない企業に比べ、平均**-0.8%**と離職率が低い結果が出たよ。
本調査を行った企業**3066社***の平均離職率が**5.7%**なので、**0.8%**でも、結構インパクト大きいね！

*多変量解析の結果で、「花粉症に対する具体的な支援」「離職率」「勤続年数」「平均年齢」に回答した3066企業での結果になります。関連する項目が1つでも無回答の場合は手法上解析から除外されています。
**グラフは各項目毎に、実施している企業と実施していない企業を比較した結果で、実施している企業の傾向を示しています。

